

# 子どもの未来応援団報告書（伊那谷再発見）

表題：「ともの」を広めたい！

学校・団体名：伊那市立東春近小学校

活動グループ名：3年西組

担当者・教諭名：奥山 加蘭

活動人数：27人

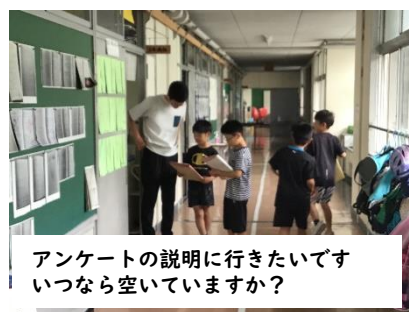
## （1）活動を始めた理由

5月に地域探検を行った子どもたちに東春近のじまんは何かたずねると、歴史・自然など多くの答えが出てきた。なかでも一番盛り上がった話題は、学校から歩いて5分のところにある「ともの」菓子店についてだった。「ともの」について知っていること・知らないことを話し合う中で「ともの」の人气がどのくらいか疑問を持った子どもたちは、全校と地域、総勢300人ほどを対象としてともの人気アンケート調査を実施した。結果は、とものを好きな人が多くいることがわかった一方で、とものを知らない人が38人、行ったことがない人は53人もいた。さらに「ともの」は和菓子店であるにも関わらず、一番人気のお菓子はガムであることに子どもたちは衝撃を受けた。自分たちが大好きな「ともの」を知らない人にも教えたい、いいところを広めたい！と願う子どもたちは「ともの」の良さを広めるために活動を始めた。

## （2）活動内容・活動の写真（カラー）

① 「とものは東春近でどのくらい人気なの？」

お店見学後、「とものは東春近でどのくらい人気なの？」と1人の子がつぶやいた。「東春近一！」「世界一！」と言う子もいたが、実際に調べたい気持ちが強まり、とものアンケートをとることにした。



② もっと「ともの」を広めたいな ～150周年の式典で売るオリジナル和菓子のデザインを決めよう～

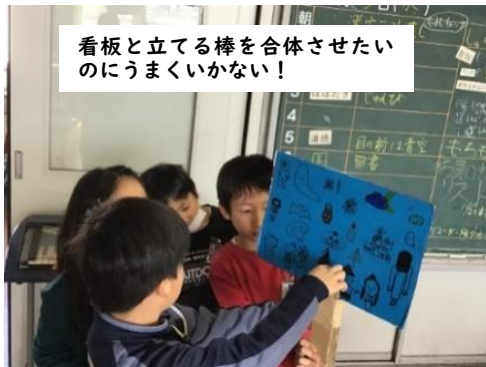
「ともの」の和菓子のおいしさを広め、お店の良さを知ってもらうためには、学校の大きな行事で「ともの」の和菓子を守るのがいいんじゃないかな？しかも当日限定の特別な和菓子にしたい！

「ともの」を広めるためにはどうしたらいい？



③ もっと「ともの」を広めたいな ～3西だけの和菓子店を作ろう～

どんなお店にする？何を準備する？お客さんも私たちが笑顔になるような和菓子店にしたい！



販売当日は、「すごいね」「『ともの』大好き！」とあたたかい言葉をたくさんいただいた。今まで支え合ってきた友だち、来てくれたお客さんには感謝の気持ちでいっぱい、お客さんも私たちが笑顔になれました。

#### (4) 活動結果

和菓子店を準備した子どもの感想から

○R 児 わかざりと、お面とおまもりをみんなで力を合わせたら、こんなに力を出せたり、きょう力できるのがわかりました。

○K 児 3はんでやってみて、けんかもあって、きょう力したときもあってふあんなきもちにもなったけど、さいごにはなかよしでうれしいきもちになってちょうどいい時間におわって、

「3はんのKくん、Sくん、Sちゃんといっしょにできてよかった。」と思いました。

つくってみて、さいしょはむずかしいと思っていたけど、そうぞういじょうに大へんだった。まにあわないんじゃないかな？って思ったけど、ちょうどいい時間におわって、わたしもみんなもよかったと思う。

○H 児 今日のはつだったし、しあわせの木をかんせいできたのでうれしかったです。そしてほかにてつだってくれた人には、かんしゃの気持ちでいっぱいです。Tさんがすすめてくれて、いろいろたおれてしまったり、花がたりなくなったり、そういうことが多かったけど、そういう大切な時にてつだいに来てくれた人がさきえてくれて本当にうれしいです。